

# 会議録

(第1回 田川市市史編さん準備委員会)

開催日時	令和6年7月24日(水) 10時から10時40分まで	開催場所	田川市 庁議室
委員		事務局	
清水委員長(九州国際大学名誉教授)、嶋崎委員(早稲田大学教授)、盛坪副委員長(教育部長)、熊谷委員(人事秘書課長)、有田委員(経営企画課長)、二場委員(総務課長)、加藤委員(財政課長)、森田委員(文化生涯学習課長) (欠席者: 勢嶋副委員長(総務部長))		峯課長補佐(経営企画課)、眞杉主任(経営企画課企画政策係) 中村係長(文化生涯学習課文化係)、福本事務主査(文化生涯学習課文化係)	

## 1 挨拶

副市長から挨拶

(副市長は公務のため、退出)

## 2 委員及び事務局の自己紹介

各自自己紹介

## 3 準備委員会設置の趣旨

事務局から資料に基づき説明

## 4 議題

### (1) 委員長及び副委員長の互選

委員の互選により、委員長に清水委員を、副委員長に勢嶋委員及び盛坪委員を選出

清水委員長から挨拶

### (2) 全体スケジュール(案)及び検討事項

事務局から資料に基づき説明

(3) 他自治体の市史編さん事例紹介

事務局から資料に基づき説明

(質疑応答)

盛坪副委員長：資料6ページ（非公表資料）の他市の事例について、A市は継ぎ足し方式で全5巻を刊行している。その5巻の内容はどのようなものなのか。

事務局：「年表と写真で分かりやすくまとめた資料」「既存の市史から追加、修正すべき事項のみをまとめた追補編」「A市の歴史を語る上で欠かせない民間炭坑会社の歴史に特筆した資料」等である。

盛坪副委員長：次回の会議時に、他市がどのような内容で、何巻を刊行したのかが分かる資料を提供してもらいたい。

事務局：承知した。

清水委員長：他市の状況を比較した資料を説明する場合は、「従前の市史がどのような内容で、新たに策定した市史がどのような内容になっている」というように、従前から変化した箇所が確認できると、他市の状況を判断しやすい。

次回の委員会時には、これらの内容を整理して報告してもらいたい。

嶋崎委員：あわせて、他市の状況を比較した資料をまとめる際には、「デジタル媒体の資料を附属している」、「ウェブサイトで内容を公開している」等の補足情報も一緒に整理してほしい。

事務局：承知した。

清水委員長：刊行する時期について、ある程度の期限が決まっているのか。

盛坪副委員長：昨年11月に市制施行80周年を迎えたことを記念して、市史編さんに着手することが決定した。したがって、市制施行90周年を迎えるタイミングで刊行するなどの期限を決めているわけではない。今後、通史又は継ぎ足しのどちらの手法で策定するのか等を決定し、全体的なスケジュールを加味した上で、刊行する時期を決定していければと考えている。

森田委員：現行の市史の評価については、学識経験者の2人の先生にさせていただくのが良いと考えている。清水委員長におかれては、以前田川市石炭・歴史博物館との関わりがあるので、現行の市史についてどのような御意見をお持ちなのか教えていただきたい。

清水委員長：思い当たるところでは、既存の市史を策定した時に収集した史料は田川市立図書館に保管されているが、その収集史料がきちんと活用されたのか、疑問に思うところがある。そういった視点からも既存の市史を再確認し、コメントしたいと考えているので、もう少し時間をいただきたい。

また、学識経験者である嶋崎委員の御意見も伺いたいと考えている。嶋崎委員は、全国の旧産炭地に関する知見があるが、そういった視

点からも現行市史を確認していただき、御意見をいただきたいと考えている。

嶋 崎 委 員：簡単に自己紹介すると、日本を中心に石炭産業の戦後史を研究しており、大学では石炭産業・炭坑に関するゼミを持っている。ゼミの学生が様々な産炭地の市史を研究し、現地のフィールドワークを行っている。このような背景から、全国の旧産炭地の市史に触れる機会が多く、他市の市史の事例を紹介できればと考えており、田川市の現行市史についても意見をまとめたいと考えている。

## 5 その他

なし